

第7回 理科教育賞贈呈式

7月24日(水)、みなとみらい地区の横浜ベイホテル東急において、第7回理科教育賞贈呈式を開催しました。参加者は、2016～2018年度の助成対象校・団体代表者と各県市町村の教育委員会、他財団招待者、当財団役員など250名を超え、栄えある式典であると同時に、大変有意義な学び合いの場となりました。



受賞校による研究成果発表



全助成校のポスターセッション

理科教育賞 受賞団体

賞	受賞団体	テーマ	実践概要
理科教育賞 大賞 (100万円)	横浜市立 三ツ沢小学校 (神奈川県)	「自らかかわり」「考えを深め合う」子どもの姿を求めて～体験活動と言語活動が充実する単元づくりと授業づくり～	自然に問題意識を持ち、自分の考えを組み立てられるような教材と場を工夫した。タブレットなど活用して考えを説明・論議し、「相互理解」と「合意形成」を通して考えを深め合うことができた。
理科教育賞 (50万円)	下野市立 古山小学校 (栃木県)	サイエンスコミュニケーションによる理数教育の授業デザイン	伝える相手にわかるように、相手が伝えたいことが理解できるように、ICT機器や「書いて考える」を取り入れた授業改善を行った。理科に対する興味関心や主体的な追求意欲の向上につながった。
理科教育賞 (50万円)	飯塚市立 飯塚東小学校 (福岡県)	情報活用能力における思考力・判断力・表現力を身に付けさせる授業づくり～知識構成型ジグソー法とプログラミング学習を通して～	ジグソー法とプログラミングを通して、①複数情報を結び付けて新たな意味を見出す力②情報技術を活用する力③プログラミング的思考の育成を図った。実験観察への関心やICTリテラシー向上が見られた。
理科教育賞 (50万円)	いわき市立 小名浜第一小学校 (福島県)	科学的な思考力・判断力を高める理科学習指導の工夫	ズレを生み出す事象提示の工夫、思考の流れを可視化するコミットメント表の活用、映像など活用した多面的・多角的な考察、などを取り入れた。ノートの実践力が向上し、理科への関心や成績が上がった。
ポスター セッション賞 (20万円)	川崎市立 中学校教育研究会 理科部会 (神奈川県)	自ら学ぶ意欲を高め、科学的な思考能力・表現力を育成する理科教育～主体的・対話的で深い学びを目指す理科授業～	4つの委員会(①教育課程 ②環境教育 ③観察・実験 ④指導・評価)で研究に取り組み、市全体で活用できる知見を深めた。会場では部会の発行冊子「授業で使える! 面白理科実験」を配布した。



理科教育賞受賞者と日産財団選考委員・理事



後援をいただいた
内閣府男女共同参画局
池永局長のご挨拶



リカジョ賞 受賞団体

賞	受賞団体	テーマ	活動概要
リカジョ賞 グランプリ (20万円)	和歌山信愛 中学校高等学校 (女子中高一貫校)	女子高から未来の科学者を育成する～理科好きリカジョ育成プログラムWSP～	化学・物理の苦手対策に、Wakayama-Science Program (WSP)を編成。実験数の増加、大学・企業とのコラボ等により、興味関心と学力を向上した。
リカジョ賞 準グランプリ (10万円)	チーム チョコレート・サイエンス (東京大学物性研究所)	チョコレート・サイエンス～物理で美味しさをデザイン～	チョコレートの食感をココアバターの結晶形で作り分け、試食してその性質を理解するプログラム。2014年～27回実施、女子に大人気のイベントに成長した。
リカジョ賞 準グランプリ (10万円)	学校法人大谷学園 大谷中学校・高等学校 (女子中高一貫校)	独自作成した装置を使って科学イベントで実験を披露し科学への興味関心を高める諸活動	独自の実験装置を試行錯誤で設計・制作することで「モノづくりの基本」を体得する。さらに、科学イベントで観客に直感的に法則性を理解させる演示法を考え、知識の身体化を深めた。